

**最適化効果指標一覧**  
(年金積立金管理運用業務・システム)

2007年2月2日

## 1. 最適化効果指標

## (1) 最適化効果指標

## ① 削減経費(単位:千円)

最適化実施前の経費(a);2,150,000	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	計
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
最適化実施後の経費(試算値) (b);2,113,000	2,113,000	2,113,000	2,113,000	2,113,000	2,113,000	
削減経費(目標値)((a)-(b));37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	185,000
最適化実施後の経費(実績値)(c)						
削減経費(実績値)((a)-(c))						

## ② 削減業務処理時間(単位;金額換算値)

	2008年度	2013年度			
	最適化実施前の 業務処理時間 (a);192,000	最適化実施後 の業務処理時 間(試算値) (b);181,120	削減業務処理 時間(目標値) ((a)-(b));10,880	最適化実施後 の業務処理時 間(実績値) (c)	削減業務処理 時間(実績値) ((a)-(c))
時間	192,000	181,120	10,880		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	600,000	566,000	34,000		

## ③ オンライン申請利用率は該当せず。

(2) 最適化個別効果指標

主要課題	最適化の実施内容	最適化個別効果指標	計算式
預かり資産額増大への適切な対応	預かり資産額の増大に伴う処理件数の増大を吸収する処理効率の向上	データウェアハウスへの単位時間当たりのデータ登録件数	$\Sigma(\text{データウェアハウス登録データ件数})/\text{データウェアハウス登録処理時間}$
年金特別会計に対する資金納付への適切な対応	資金化可能資産額把握タイミングの早期化	資金化可能資産額の把握までの日数	各種資金化可能資産の残高データの、(DWH登録日-残高基準日)の年間平均値
管理・運用業務のデータの整備	日次データ取得のタイミング早期化	日次ポジションの把握までの日数	全残高データの、(DWH登録日-残高基準日)の年間平均値
業務・運営における一層の合理化・効率化の要請への対応	職員による基幹システムからの必要データの直接取得	データウェアハウスへの直接データ問い合わせ操作件数	問い合わせ操作件数の年間累計値

① データウェアハウスへの単位時間当たりのデータ登録件数 (単位;1時間あたり)

	最適化実施前	初年度目	...	5年度目
	2006年度	2009年度	...	2013年度
目標値		1,800,000件	...	1,800,000件
実績値	70,320件	-		-

② 資金化可能資産額の把握までの日数

	最適化実施前	初年度目	...	5年度目
	2006年度	2009年度	...	2013年度
目標値		3日	...	2日
実績値	4~35日	-		-

③ 日次ポジションの把握までの日数

	最適化実施前	初年度目	...	5年度目
	2006年度	2009年度	...	2013年度
目標値		3日	...	2日
実績値	4~35日	-		-

④ データウェアハウスへの直接データ問い合わせランザクシオン件数

	最適化実施前	初年度目	...	5年度目
	2006年度	2009年度	...	2013年度
目標値		12,000件	...	13,000件
実績値	1,200件(推定値)	-		-